

Otani's Intense のさらなる発揚

Reunion
For Otani!



学校長 飯山 等

大谷中高は1875年(明治8年)に京都の高倉通り六条に「京都府下小教校」として誕生してから19年後の1894年(明治27年)に、現在の今熊野池田町の地に移転をし、当時関西において学校建築のモデルと称された校舎(右下写真)を建築して新たなスタートを切りました。そこには、新しい日本の教育をリードする存在たらんという大きな自負と責任の漲りを感じるのです。設置母体の決して順風満帆の状況ではない、むしろ逆風が吹き荒れる中であって、このように大きな仕事が決断され成し遂げられたことに感動します。

そして1945年(昭和20年)の敗戦から4年後の1949年(昭和24年)、その痛悔の念からの平和の希求と新生の希望が形をなしつつあったとき、菩提樹の葉と実を象った現在の校章を定めて、大谷は今に繋がる新しい歴史を歩み始めました。このとき、この校章を制定させたものは何であったのでしょうか。それは若者を戦場に身を投ずるよう機能する場となったことへの痛みと懺悔であり、将来いかなる時にも「仏教の学校として存在せん」というつよい意志であったのではないのでしょうか。自身が存在することの意味を、つねに自らに問いかける象徴としてはたらくことを願われての決定であったと推考することです。

昨年、大谷中高は創立140年の節を刻みました。存立することの未来への責任と使命を思うとき、この今熊野校舎建築と、菩提樹校章の制定に通底する真情を、大谷が歩むべき

道を指し示す大事として、決して忘れてはならないと思うことです。この140年のときの重なりがあつての「現在」であることを、そしてこの今は、未来に繋げてゆきたいせつな「現在」であることを、大谷に身をおくすべての私たちがまず何よりも心に刻んで歩んでいきたいと思っております。

そして、人生の大切なときを、ここ大谷において生きられた同窓の皆さんにとりましても、この大谷の心はそれぞれの人生のところで、変わらず真情であり続けていることであろうと信じております。

男女共学化20年、21世紀生まれの新生を迎える今、未来に向けてさらに相応しい学び・育ちの場として揺るぎなく存在するために、果敢に自己検証し、自己刷新を遂げていく勇氣と力を生き活きと持ち続け、発揮していきたいものです。

Otani's Intense のさらなる躍動のために、同窓の皆さんの温かい心と手を、と念じております。



株式会社 類設計室

一級建築士事務所

代表取締役社長 岡田 淳三郎
取締役副社長 阿部 紘

大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル tel06-6305-6666
東京都大田区蒲田5-38-3 蒲田朝日ビル tel03-5713-1010
<http://www.rui.ne.jp>



株式会社ファーストフーズ

業務内容

幼稚園給食・京都市中学校給食
委託給食・幕の内弁当

- 本社工場 〒601-8436 京都市南区西九条西柳ノ内町2
TEL 075-662-2181 FAX 075-682-5410
- 上鳥羽工場 〒601-8114 京都市南区上鳥羽南鉾立町55-1
TEL 075-662-2115 FAX 075-662-2113